

こころざしの青石

Blue stone of will

旧長井邸玄関前に設置されていた青石のひとつは、平成14年(2002)徳島大学薬学部教育研究棟改修工事完了時に寄附して頂き、現在も正面玄関前に設置されている。博士は慶応2年(1866)この石を踏んで長崎に旅立ったことから、こころざしある若き学徒が、将来世界の薬学を背負って立つ人になるよう歩いて欲しい、との願いが込められている。



長井博士生誕生地の現在

Current birthplace

旧長井邸前(木内邸と枝川邸の間)には、長井長義先生御誕生の地を示す石碑が、現在も残されている。また石碑が面する道路の反対側(北側)には、道路の名称「長井長義通り」を示すプレートが設置されている。この通りは、徳島大学常三島キャンパスのすぐ北側に位置している。徳島大学薬学部の前身、徳島高等工業学校は、この常三島に設立された。

